

中里地域まちづくり協議会 地域自治推進計画

1. 計画期間 令和6年度 ～ 令和8年度 (3カ年)

2. 中里地域の現状

中里地域には「上信越高原国立公園」清津峡、「国指定名勝天然記念物」七ツ釜をはじめ、清津川フレッシュパーク、清田山キャンプ場など多くの観光資源に恵まれています。特に芸術祭作品を取り入れてリニューアルした清津峡溪谷トンネルは、オープン以来多くの入坑者が訪れています。また、市で初の国史跡に指定された「田沢・壬遺跡」があります。当地域においても少子・高齢化や若者の流出により人口減少が続いていることで、地域の活力が弱まり集落活動の弱体化を招いています。また、身近な交通手段である路線バスや鉄道の運行本数の減少、空き家や耕作放棄地の増加などが問題になっています。更に、青年・壮年層の減少、社会経済情勢の変化などにより地域振興、地域活性化の取り組みが弱まってきているように感じられます。

しかし、当地域はアート作品を取り入れてリニューアルし賑わう「清津峡」や「七ツ釜」をはじめとした観光資源に恵まれています、また、当市の主要道路国道117号と、湯沢方面、関東圏に至る国道353号の交差点であり、市の南玄関にもなっていることから、当協議会が中心的な役割を担い、立地を活かした地域づくりを推進すると共に、協働によるまちづくり活動に取り組みます。

3. 中里地域の課題

【田沢第一地区振興会】

- (1) 地区振興会の認知度の向上
- (2) 地区の課題解決に向けた組織体制の構築不足

【田沢第二地区振興会】

- (1) 地区の高齢化と特に若い世代の人口減が進み、行政区単位での活動・行事への協力者の確保が難しく、各地区ともに役員への負担が大きくなっているため、振興会事業においては運営の見直しや、より広い範囲に参加（協力）を呼びかけることで、個々の負担を軽減しながら事業の実施を行っていく

【田沢第三地区振興会】

- (1) 新型コロナウイルス感染症の終息が見通せないことによる事業の縮小
- (2) 地区内のコミュニケーションの場の減少

【高道山地区振興会】

- (1) 地区内の高齢化による役員の担い手不足

【清津峡地区振興会】

- (1) 高齢化や仕事の都合で役員の担い手不足、出来る人への負担の増加

【倉俣地区振興会】

- (1) 地域住民の交流が少なくなっている
- (2) 高齢化が進み施設などに入るため、集落住民が減少している

(3) 集落住民の防災意識が低下している

【貝野地区振興会】

(1) 地区役員になる人の不足

(2) 他の地域との交流がなくなってきている

【ふれあい郷育部】

(1) 人口減と高齢化

(2) 地域行事の継続をどのように

(3) 高齢者と子供の居場所は

【産業観光交流部】

(1) 高齢化が進み小規模な農業も年々脆弱化している

(2) 観光協会が統合し地域の観光協会支部が無くなったため連携が難しくなり、各種イベントに地域との繋がりが不足している

(3) 農協、商工会の合併も控えているため部会員確保が難しくなる

【環境部会】

(1) 部員が少ない

(2) 鳥獣被害が増加している

(3) ごみの不法投棄が継続して発生している

【健康福祉部】

(1) 福祉ニーズの把握を継続し、昨今の課題となっている少子高齢化や核家族化、高齢者世帯の増加、生活不安の増大、気象状況の変化による災害、高齢者を狙った犯罪、交通災害、障がい者を狙った宗教勧誘などについて、どの様に対応し守っていけるのか

【防災安全部】

(1) 自主防災組織の活動に対する支援への充実

(2) 部会構成員の増員（1～2名程度）

4. 中里地域の3年間の将来像、目標

【田沢第一地区振興会】

(1) 共助・公助で安心して住める明るい地区づくり

(2) 地区伝統行事の保存と継承で世代間交流のある地区づくり

【田沢第二地区振興会】

(1) 地区伝統行事の保存・継承で地区内の交流と世代間交流を促進し、活力のある地区づくりを目指す

【田沢第三地区振興会】

(1) 地区内の事業を積極的に実施し、コミュニケーションの場の提供を図る

【高道山地区振興会】

(1) 世代間交流の場を提供して交流のある地区づくり

(2) 今まで行っていた事業の継続

【清津峡地区振興会】

(1) 毎年行っている行事の継続

(2) 自らやってみようと思えるような活動の検討

(3) 大地の芸術祭を活用した活動

【倉俣地区振興会】

(1) 高齢者も楽しめる地域イベント活動の促進

(2) 集落維持のため空き家に移住者受け入れを促進

(3) 住民全員が安心して住める防災活動を促進

【貝野地区振興会】

(1) 今まで行ってきた事業を継続することで、活力ある地区づくりを行う

(2) 新規事業を積極的に取り組むことで、他地区との交流を行うなどの仕組みづくり

【ふれあい郷育部】

(1) 老若男女問わず参加できる事業の実施

(2) 気軽に寄り合える居場所造り

【産業観光交流部】

(1) 産業振興により若者が活気づくまちを目指し、美しい里山を活かした農業・観光産業を創出する

【環境部会】

(1) 地域内関係団体と連携を深め、活動を推進する

【健康福祉部】

(1) 高齢者・障がい者などが健康で安全・安心に住めるまちづくり

【防災安全部】

(1) 各区の自主防災組織の防災訓練実施への支援や助言

(2) 部会の事業や活動の情報発信

(3) 防災訓練・救急救命訓練等の推進

(4) 地域の防災情報の取得

5. 中里地域の基本方針

【田沢第一地区振興会】

(1) 皆が参加して創るコミュニティ活動の推進

(2) 各地区振興会事業や地域事業への積極的参加を推進

(3) 地域内行政区と一体となった組織運営で行政や地区との連携を図る

【田沢第二地区振興会】

(1) 皆が参加して創るコミュニティ活動の推進

(2) 各振興会事業や地域事業への積極的参加の推進

(3) 地域内行政区と一体となった活動を行い地区の連携を深める

【田沢第三地区振興会】

(1) 地区民のコミュニケーションの活性化

(2) 地区振興会及び地域の活性化

【高道山地区振興会】

(1) みんなで参加して創るコミュニティ活動の推進

(2) 地区事業への積極的参加

【清津峡地区振興会】

(1) 大地の芸術祭への参加

(2) 活気ある地区づくり、この地区で暮らしていて良いと思える事業

【倉俣地区振興会】

(1) 集落住民誰もが生き生きと暮らせる地域を目指す

(2) 移住者などを積極的に受け入れ、集落の活性化を図る

(3) 災害発生時の救助や共助が行えるよう活動の充実を図る

【貝野地区振興会】

(1) 皆が参加するコミュニティ活動

(2) 地区の活性化

【ふれあい郷育部】

(1) 公民館・地域団体等と連携し事業を実施する

【産業観光交流部】

(1) 既存観光資源とアート作品を活した里山の創出

(2) 関係団体及び各種実行委員会と共催、協賛し、地域内イベントを盛り上げる

【環境部会】

(1) 地域の美化活動を通じて、環境に対する意識を高める

(2) 地域内他関係団体と一体となって環境の維持、保全活動を推進する

【健康福祉部】

(1) 行政機関と共に高齢者・障がい者などを守る

(2) 老人・障がい者などの交流

(3) 老人クラブによる地域との福祉交流

(4) 老人福祉施設による地域との福祉交流

(5) 障がい福祉施設による地域との福祉交流

(6) 老人クラブによる健康増進

【防災安全部】

(1) 中里地域の安全安心を地域住民とともに学び実践・推進する

(2) 地域の防災情報を出来るだけ収集し、災害発生に対する注意喚起を行う